

第4回 昭島市行財政運営審議会

議 事 要 旨

〔日 時〕 令和4年8月4日（木） 午後6時00分

〔場 所〕 昭島市役所 6階 602・603会議室（一部オンライン開催）

〔出席者〕

1 委員

田中啓之会長、荒井康裕副会長、荒井浩委員、小池満也委員、鈴木庸子委員、
佐藤良絵委員、高橋靖和委員、立川眞一委員、藤森勉委員、山下俊之委員

2 事務局

永澤企画部長、浅利行政経営担当課長、小林企画調整担当係長、和田公共施設再編・調整担当係長

3 傍聴者

なし

〔配付資料〕

- ・ 第4回昭島市行財政運営審議会 日程
- ・ **資料1** 中期行財政運営計画における基本方針と取組項目について
- ・ **資料2** 中期行財政運営計画における基本方針と取組項目について
(10ページ以降の抜粋版)
- ・ **資料3** 昭島市行財政改革推進プラン（前計画）における数値目標
- ・ **参 考** 第3回昭島市行財政運営審議会 議事要旨

〔議事要旨〕

1 第3回会議議事要旨の確認

事務局より事前配布した内容にて各委員了承

2 議題

（1）中期行財政運営計画における基本方針と取組項目について

事務局から資料により説明。

〈質疑応答〉 ◆は委員、○は事務局の発言要旨

- ◆ 中期行財政運営計画（以下、「本計画」）が、単なる分野別計画の1つではなく、市職員一人一人が本計画を踏まえて仕事して行くという位置づけであることを理解した。本計画の名称は例えば第6次といった名称は入れないのか。
- 総合基本計画においても令和4年度～令和13年度といった年度間表記に変えていこうという考えがあり、本計画も同じようにしたいと考えている。
- ◆ 3ページのCOP26の記載の部分について、日本の政府の動向や東京都の動向などに触れ、自治体として求められているという形で書くべきである。また、現在基本方針が4本立てとな

っているが、基本方針の1と2については、重複している部分もあるので、1本化してはいいか
が。

○ 構成については、前計画の内容や総合基本計画の「計画実現のために」を踏まえ、各担当課
にヒアリングをしていきながら決めた結果、4本立てとなった。3本立てにすることについて
は、この場で各委員さんより議論いただきたい。

◆ 3本立ての話があったが、基本方針1と2については内容が重なるところがある。今の文書
を生かすとすれば、基本方針1には、子育てしやすい環境や災害に強いまちづくりといったま
ちづくりについての記載を入れてほしい。基本方針2にあるカーボンニュートラルについては、
効果的・効率的な行財政運営の範疇ではないと思うので、基本方針1に入れ、基本方針2につ
いては、自治体情報システムの標準化や、行政手続きの簡素化という言葉を入れるべきである。
また、基本方針3には歳出があることを前提にするのではなく、事業の見直し、例えば後年度
負担が増える建設事業といったものについては、支出を抑えるという視点が必要かと思われる。
基本方針4は、業務知識やスキルを組織的に継承していくといった内容を文書化してほしい。

◆ 基本方針1の「このほか、市民サービスにおけるDXを推進することで市民の利便性の向上
を図ります。」の文章は必要ないと思われる。

○ 文章の構成や表現の仕方については、事務局で検討させていただき、会長及び副会長と調整
しながら示させていただく。

◆ 今回説明が加わったことで、取り組むポイントが明確になったと理解した。限られたマンパ
ワーでサービスを提供し続ける必要がある中で、DXが本計画の1つの目玉になるということ
がわかった。

また、COP26についての説明があったが、国の取組、東京都のゼロエミッション戦略を踏
まえ、市独自に取り組むことが必要である。基本方針の様々なところにキーワードが織り込ま
れているので、わかりづらい部分もあるが、逆に様々なところに絡んでいくことで、脱炭素、
ゼロエミッションという姿勢で取り組んでいくということが明確になった。今各委員の皆さん
からあったが、これらがわかりやすく整理されると良くなると感じた。

◆ 審議会としては市がどういう形でエンジンをかけ、そのエンジンを加速させていくかという
ことが一番重要である。言葉の一つ一つにご意見はあるかと思うが、事務局で直して進めてい
ただければ良いと思う。

(各委員了承)

(2) 計画期間における取組項目の評価・検証などについて

事務局から資料により説明。

〈質疑応答〉

◆ 財政的な数値は客観的な数字なので、考え方は理解した。職場の関係について、職員のアン
ケートを取り、結果によって進行管理することについても異議はない。基本方針の1から4ま
では、どういう取組をして、その結果どういう効果があったかを評価していただくことを記載
してほしい。また、行財政改革推進会議では、例えばデジタル化が進んでいればいい評価をし、
進んでいなければもう少し取り組んでくださいというように、必ず数値目標を全部書き出すの
は難しいので、基本方針1については大括りの書き方をすればいいのではないかと。また、分
野別計画のデジタル化推進計画や環境基本計画では外部委員の評価を受けるのか。

- 前回ご指摘があったように、取組項目の事業を実施しましたので評価しますというよりは、その事業をやった結果、どのように基本方針に結びついたということを、行財政改革推進会議の中でご意見を聞きながら、評価していく形にしていきたいと考えている。デジタル化推進計画の評価方法は次回審議会にて回答させていただく。環境基本計画の評価は、PDCAサイクルの中で環境審議会でも、施策事業の実施状況や次年度以降の課題などを調査、審議することになっている。今回の本計画では、分野別計画と整合性をとり、その中でも必要なところは評価、検証し、整理していきたいと思う。
- ◆ 市役所の各セクションがフォローしていく形がとれば良い。例えば、環境施策であれば環境基本計画の目標値があって、それに対してどのような施策をしているか。市の方向性が間違っていないかを確認していくことになる。DXについては、あくまで業務改善の手法であるため、それを活用したうえで、職員のキャリアデザインなどに繋がっていけば良い。
- ◆ 民間による職場診断はやられたことはあるのか。どういう形でやるかは別として、第三者の視点は必要である。これは提案である。
- 第三者の視点について、以前は学識経験者等による事務事業外部評価を実施していたが、評価件数が多く職員の負担が非常に大きかった。現在は、いくつかの事務事業をピンポイントで絞って内部評価のみ実施しているところである。
- ◆ 経常収支比率で言えば、経常一般財源が落ち込んだ時にどうやって補填していくのか見通し、効率的・効果的に運営してどう生み出していくのか、というのが前までの計画であった。
 今回の名称は行財政運営計画であるので、市民にこういう方向で市政を運営していくと説明していくことはいいと思うが、実際市政として、この先継続的な運営ができるとはっきり言えるのが非常に疑問である。
 経常収支比率を目標値から外す話があったが、経常収支比率は何が適正か非常に難しい問題ではあるため、目標としては難しいかもしれない。それでも経常収支として100を超えていない限りにおいては、何らかの余裕がこれまではあったはずである。それもなくなるのであれば、絶対的な政策転換が必要になるという1つの指標となる。
- 経常収支比率については、例えば単年度限りの事情で市税が増加した場合、分母が増えたことで数値が下がってしまい、見かけ上、財政が良化したように見えてしまうことなどがある。このことから、目標値として、見送る案を提示したが、余裕財源をどうやって生み出していくかというのが、本計画の主眼でもあるというご意見もいただいたことから、内部で再度検討させていただく。
- ◆ 財政部分の指標については、先ほどの経常収支比率のところはどうされるのか。
- 経常収支比率は前計画で目標値はあったが、コントロールできない難しさもあった。ただ、今いただいたご意見を踏まえて、もう一度目標値としてどうあるべきかを検討したい。
- ◆ 先ほどのご意見と重複すると思うが、15ページの「自身のキャリアデザインを描けていますか」という質問に対し、「描けている」が40%、「描けていない」が60%となっている。市の職員の異動方法を変えていくというのは難しいかとは思いますが、先ほどのスキルアップ、スキルの進化を考えると、別の部署から全く違うベースの部署に異動することはデメリットの方が多い気がする。そのため、その部署内のキャリアやスキルの進化を図った方が、よりその部署の専門性が図られる気がした。
- キャリアデザインについては、個々の考え方がある中でジョブローテーションし、様々な職

を回る中でキャリアデザインが描かれることもある。事務局としてはご意見として頂戴したい。

- 一つの考え方として専門性の高いところは、専門性の高い職員を採用するということもあるが、なかなかそうもいかないため、専門的知識を持っている人を会計年度任用職員などとして雇いながら運営しているところである。人事異動については、新しい人が入ることにより、今までその職場で気づかなかったことが、新たな発見として事務が進行していくようなことが期待される。また特にお金を扱う職場は、1人が長くやっていると不正の恐れもあるため、人事異動というのは必要である。また、そこには人財育成という観点もあり、新しい人財が来たら、その職場で育てるという考え方も、市では非常に重要視している。

- ◆ 資料2で実質公債費比率と将来負担比率で、案1と2が示されているが、この件については何かご意見はあるか。ご意見がなければ事務局の判断で進めていくということによろしいか。

(各委員了承)

(3) その他

次回審議会の日程を以下のとおり説明し閉会とした。

- ・第5回昭島市行財政運営審議会

…令和4年9月2日（金）午後6時00分～ 市役所3階庁議室にて